

日本民間教育大賞 授賞式 記念講演会



日本民間教育大賞の授賞式は、2016年度中にお亡くなりになった塾関係の皆さまに黙祷を捧げてから開催された。「この1年の間に、本日特別功労賞を受賞される秋田の中村先生、群馬の碓先生、元ウインの山分先生、さらには中央教育研究所の梶浦社長をはじめ、塾業界に多大な貢献をしてくださった多くの方々がお亡くなりになりました。授賞式に先立ちまして、ご冥福を祈って黙祷を捧げたいと思います」と司会のヒューマレッジ・木村吉宏代表が述べると、参加者はいっせいに下を向いて目を閉じ、静寂のひとつの中故人の冥福を祈った。

授賞式は、昨年民間教育最高功労賞に輝いた、私塾協同組合連合会の森貞孝理事長の挨拶から始まった。「本日受賞される先生方は、本当に心から敬愛してやまない方々ばかりです。塾の先生方は全員、あとに続いてこの業界のイメージアップを図り、学習塾が日本にとって、保護者と子どもたちにとって大切なものであり、役に立つものであることを多くの人々に植え付けていただきたいと思います。受賞された先生方のすばらしい足跡を見ながら、心からお喜びの言葉を申し上げます」。

授賞式が終わると、選定会議顧問の大島九州男参議院議員と渡辺美知太郎参議院議員が祝辞の言葉を述べた。下村博文衆議院議員自由民主党幹事長代行、東京都支部連合会会長は公務のため出席できなかったが、祝電が届けられた。

民間教育特別功労賞



株式会社向学舎グループ
創業者・前代表取締役

なかむら よしお
中村芳夫先生

●授賞理由●
秋田県を中心とする東北地方の民間教育の発展に寄与した功績。

●略歴●
1943年5月秋田県生まれ。京都外語大学卒業後の71年、秋田県秋田市の自宅で学習塾を開業。のちに「秋田英数学学院」と名称変更後、「株式会社向学舎グループ」として法人化。開業の当初から終始「一貫「自学力の獲得」(自ら学び、自らを伸ばす自学力)を企業理念として掲げて秋田県内に「秋田英数学学院」「秋田個別指導学院」「えいすつ個別指導」「パスル算数道場」「東進衛星予備校」などを展開。2016年5月没。享年73歳。



中村芳夫先生の奥様である中村トシ様

●受賞のご感想●
中村トシ様(中村芳夫先生の奥様)
私は看護師として長年働いておりましたので、主人が病気で入院したとき、在宅看護をすることを最初から決めておりました。元氣なときには地域でお祭りをを行い、神社をつくるなどして地域の方々

から本当に愛され、慕われておりましたので、家に帰りたいはずだと思っただけです。でも主人は自分からは決まらずに家に帰りたいとは言いませんでした。去年の5月までずっと在宅看護を行い、訪問医療の医師、ヘルパー、ケアマネージャーの方々にも家に来ていただきました。私はその間、とても幸せでした。彼はずっと朝早くから夜遅くまで仕事をしていましたので、ゆっくり家にいることはなかったのです。他の地域で塾関係の会議があるときには1泊だけ多めに休みをとってくれて、私を連れて行ってくださいました。それが何よりのいい思い出です。今日こうしてこの賞をいただいた



右は中村芳夫先生のご子息で、向学舎グループ代表の中村建彦様

たことは、皆さまのお導きがあったからこそだと感謝しております。ありがとうございました。

民間教育特別功労賞



株式会社ケーイーシー創業者
前代表取締役

おぐら としお
小椋俊男先生

●授賞理由●
奈良県を中心とする関西地方の民間教育の発展に寄与した功績。

●略歴●
1945年8月生まれ。77年11月、奈良県生駒市に「KEC進学道場」を設立。82年9月、法人化。83年、「KEC進学道場」を「KECセミナー」に名称変更。「人間



小椋俊男先生のご子息で、ケーイーシー代表の小椋則輝様

●受賞のご感想●
小椋則輝様(小椋俊男先生のご子息、ケーイーシー代表)
このようすばらしい賞を父に贈っていただき、本当にありがとうございます。ちょうど5年前の今日が父の通

大事の教育」を企業理念に掲げ、奈良県北部を中心に集団指導教室、個別指導教室、パソコン教室等を展開。小中高校生の学習指導のみならず、幼児の才能開発指導から社会人教育に至るまで幅広い分野で活躍した。2012年3月没。享年66歳。

夜でした。生前、父と一緒に奈良県で一番愛される塾になりたいという夢をずっと語り合っていました。だから、このタイミングでこの賞をいただけることは、本当に感慨深い思いです。
1977年の創業以来、一貫して「人間大事の教育」という企業理念にもとづき社会で求められる力を育む教育指導をひたむきに行っていました。志望校に合格させることはもちろんですが、優しさの心や道徳心を持ち、自主・自立したこれからの社会の発展に寄与する塾であり続けたいと思っております。
私自身、皆さまのご指導をいただきながら、しっかりと確実に成長していきたくと思っております。



ので、今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。